

「1500年前のいにしへの姿を復元」 県内最大規模“天王塚古墳”復元プロジェクト



現状・課題

- **天王塚古墳**は、特別史跡岩橋千塚古墳群（約1,000基）を構成する古墳の1つです。
- 6世紀中葉（古墳時代後期）頃に築造の**和歌山県内最大規模**の前方後円墳であり、**全国第2位の高さ**を誇る**横穴式石室**を有しています。

[古墳数] 和歌山県1,666基 ※令和3年度時点（文化庁調べ）

- **県内の半数近く**の古墳が存在している岩橋千塚古墳群に存在する天王塚古墳は、**標高155メートル**の天王塚山山頂に築造されており、明治40年（1907年）の大野雲外による調査を端に、発掘調査が進められました。
- **令和4年度より本格的な墳丘復元整備**に着手し、全国、世界への復元公開に向けた整備を進めています。
- また、標高約155メートルの山頂で周囲は深い山林や急峻な谷であることから難工事であり、風雨による浸食や崩落にも曝されており、**県内最大規模の前方後円墳を後世に残すための一大プロジェクト**です。

取組

①天王塚古墳を復元する

● 天王塚古墳整備

- ・紀伊水道と和歌山平野を一望できる天王塚古墳の墳丘を復元します。
- ・石室内部の保存環境を整えるとともに、年2回程度の一般公開により壮大な石室空間を体感可能とするための石室整備を行います。



②天王塚古墳を公開する

● 石室公開

- ・全国第2位の高さ約5.9メートルを誇る横穴式石室内部を一般公開や三次元データ公開により、全国並びに世界に情報発信します。

● 復元墳丘公開

- ・全長約88メートルの復元墳丘を公開して登頂可能にします。



【天王塚古墳石室全景】
（和歌山市）

寄附金の使途

● 天王塚古墳復元に要する費用

